

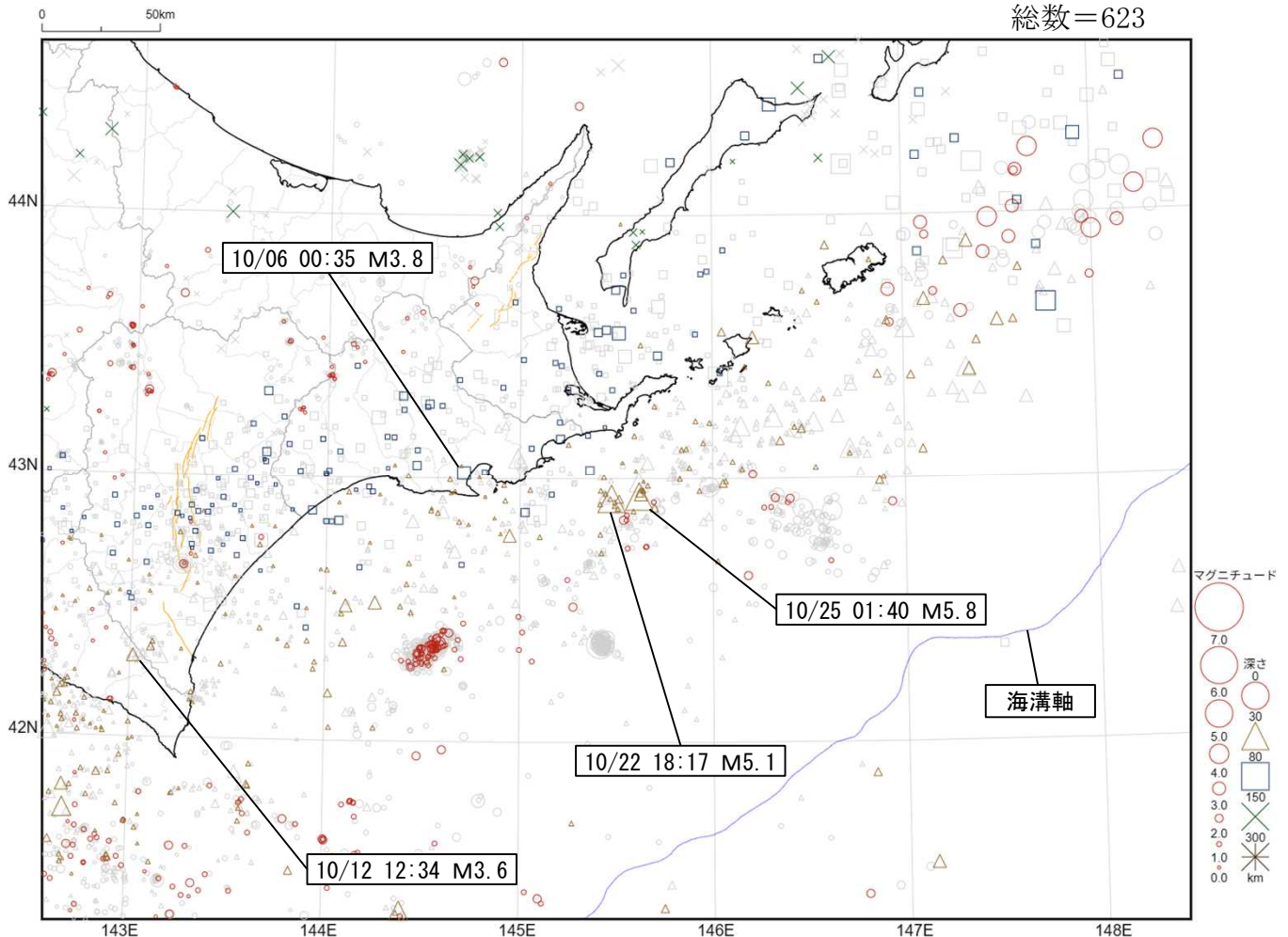
釧路・根室・十勝地方の地震活動図

2025年10月

釧路地方気象台

震央分布図

総数=623



- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

地震概況（2025年10月）

この期間、釧路・根室・十勝地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は5回（先月9月は4回）でした（「釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表」を参照）。

22日18時17分、釧路沖の地震（M5.1、深さ43km）により、浜中町、根室市で震度4を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度3から1を観測しました。（「主な地震の解説」参照）

25日01時40分、根室半島南東沖の地震（M5.8、深さ40km）により、根室市で震度5弱、釧路市、浜中町、標津町、別海町で震度4を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度3から1を観測しました。（「主な地震の解説」参照）

釧路・根室・十勝地方で震度5弱が観測されたのは、2023年2月25日釧路沖の地震（M6.0）により、根室市、標津町で震度5弱を観測して以来です。

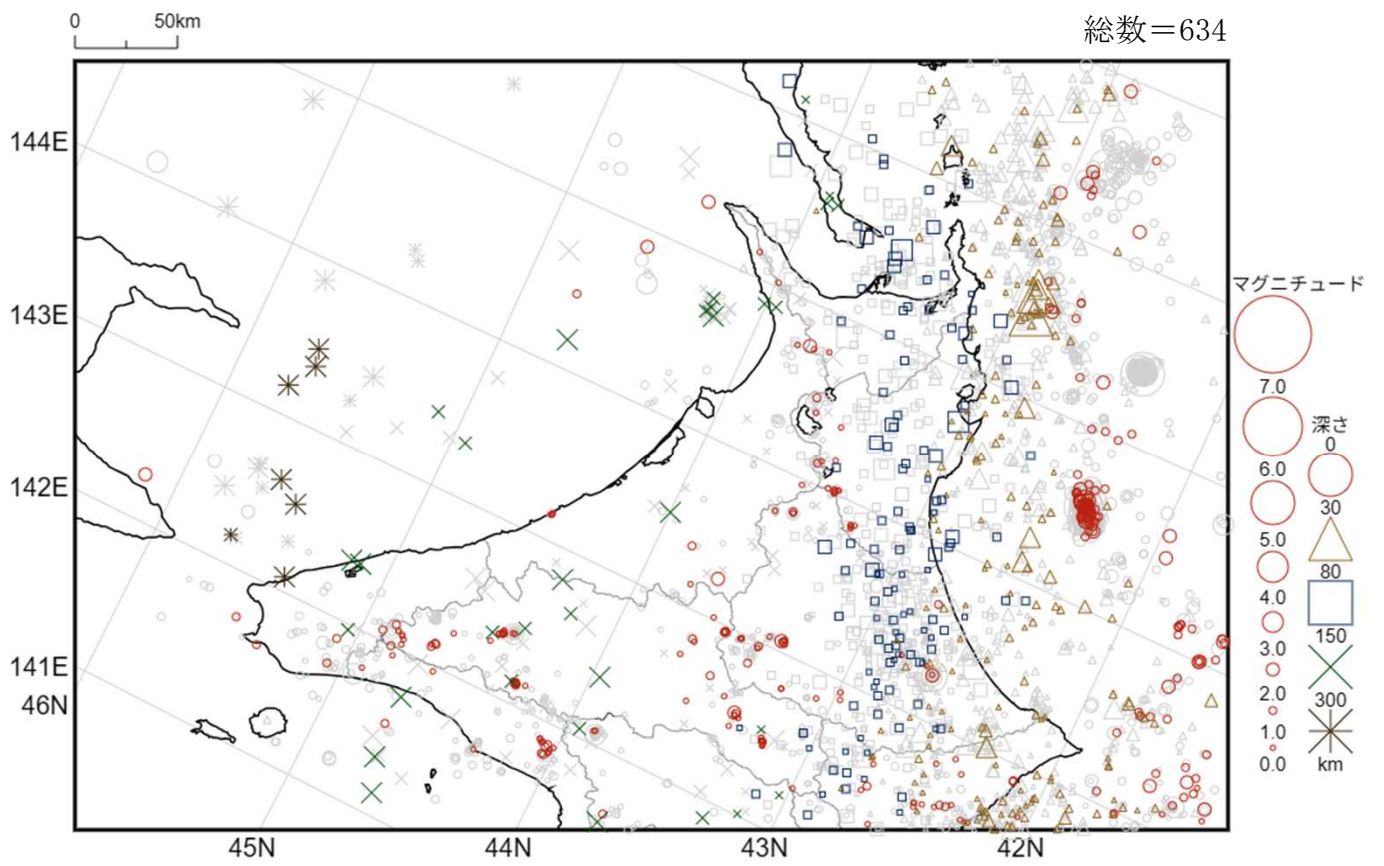
この活動図は、釧路地方気象台のホームページに掲載しています。

https://www.data.jma.go.jp/kushiro/bosai/earthquake/earthquake_data.html

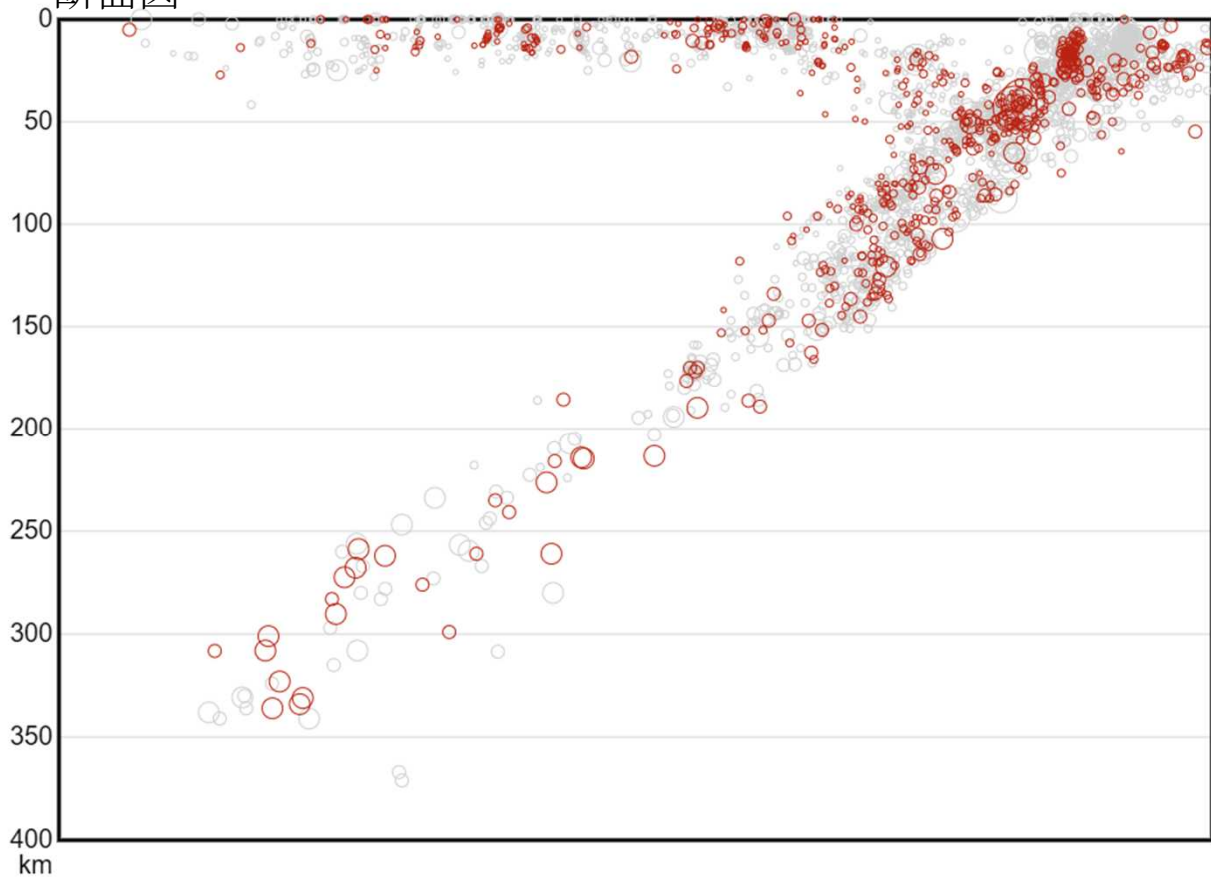
この資料に関する問い合わせ先 釧路地方気象台 TEL 0154-31-5146

2025年10月

震央分布図



断面図

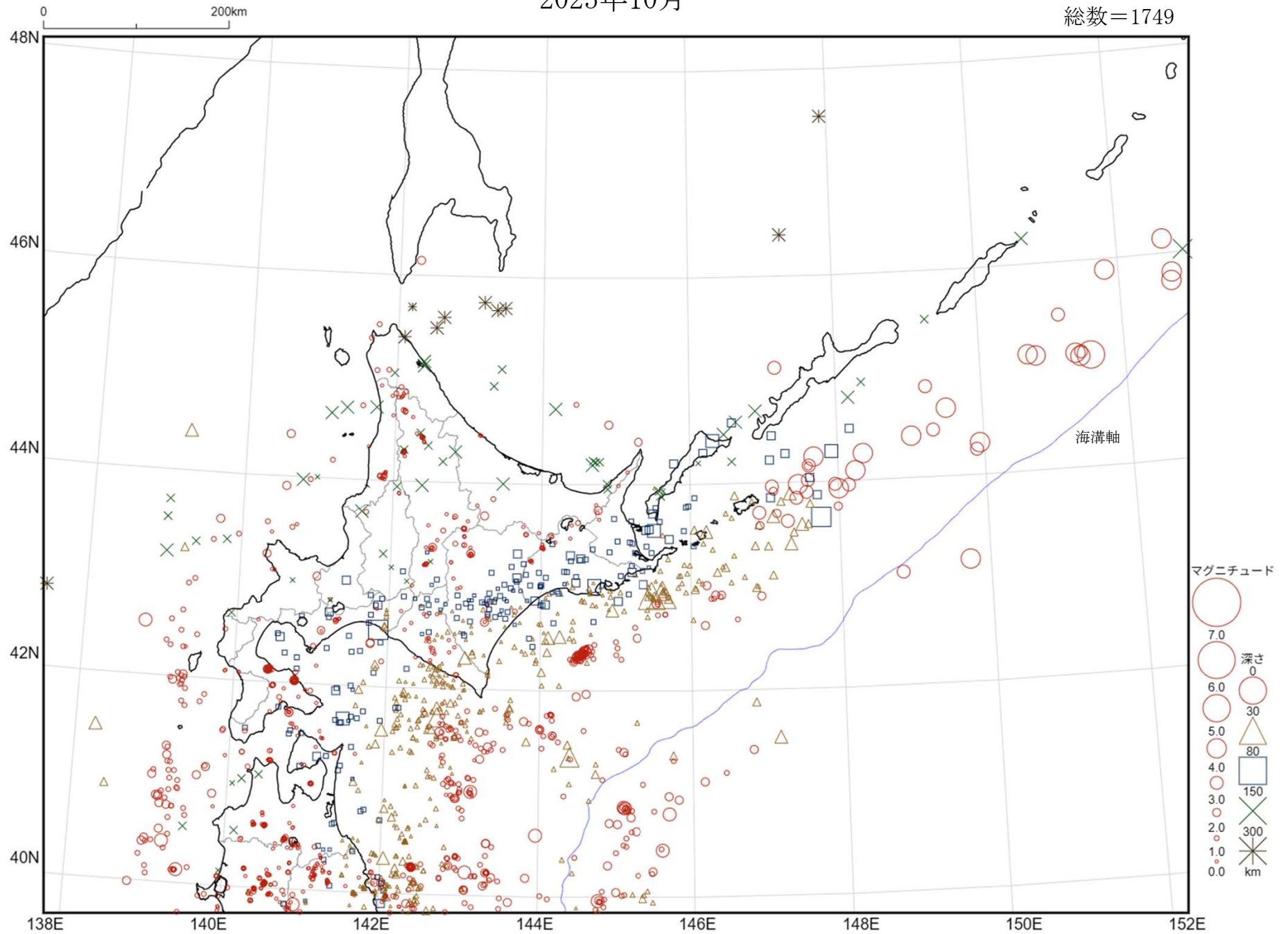


北海道の地震活動図

震央分布図

2025年10月

総数=1749



釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表
(2025年10月)

	年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (k m)	規模 (M)
1	2025年10月 6日 十勝地方 釧路地方 根室地方	00時35分 震度 1 震度 1 震度 1	釧路地方中南部 十勝大樹町生花＊(05) 弟子屈町弟子屈＊(07) 厚岸町尾幌(06) 標茶町川上＊(07) 標茶町塘路＊(09) 鶴居村鶴居東＊(13) 根室市牧の内＊(06) 根室市厚床＊(14)	43° 01.2′ N	144° 42.4′ E	107 k m	M3.8
2	2025年10月12日 十勝地方	12時34分 震度 1	日高地方東部 幕別町忠類錦町＊(11) 浦幌町桜町＊(08) 更別村更別＊(07)	42° 18.4′ N	143° 01.0′ E	51 k m	M3.6
3	2025年10月21日 十勝地方	04時04分 震度 1	福井県嶺南 浦幌町桜町＊(10)	35° 26.6′ N	135° 32.7′ E	363 k m	M5.1
4	2025年10月22日 釧路地方 根室地方 十勝地方	18時17分 震度 4 震度 3 震度 2 震度 1 震度 4 震度 3 震度 2 震度 1 震度 2 震度 1	釧路沖 浜中町茶内＊(35) 釧路市黒金町＊(25) 浜中町湯沸(34) 釧路市幸町(20) 釧路町別保＊(21) 厚岸町尾幌(20) 厚岸町真栄＊(21) 標茶町塘路＊(24) 白糠町西1条＊(15) 弟子屈町美里(09) 弟子屈町弟子屈＊(14) 弟子屈町サワレンチサップ＊(08) 釧路市阿寒町中央＊(12) 釧路市阿寒町阿寒湖温泉＊(11) 釧路市音別町中園＊(13) 標茶町川上＊(11) 鶴居村鶴居東＊(14) 根室市厚床＊(36) 標津町北2条＊(25) 羅臼町岬町＊(25) 別海町常盤(28) 別海町本別海＊(26) 根室市弥栄(26) 根室市牧の内＊(28) 根室市落石東＊(34) 根室市瑛瑤瑠＊(33) 中標津町養老牛(16) 中標津町丸山＊(18) 標津町薫別＊(19) 別海町西春別＊(19) 根室市豊里(22) 標津町古多糠(11) 羅臼町春日(09) 羅臼町緑町＊(14) 十勝池田町西1条＊(15) 浦幌町桜町＊(15) 新得町2条＊(08) 十勝清水町南4条(09) 幕別町本町＊(06) 本別町北2丁目(05) 本別町向陽町＊(05) 十勝大樹町東本通＊(07) 十勝大樹町生花＊(14) 広尾町並木通(06)	42° 55.4′ N	145° 28.4′ E	43 k m	M5.1
5	2025年10月25日 根室地方 釧路地方 十勝地方	01時40分 震度 5 弱 震度 4 震度 3 震度 2 震度 4 震度 3 震度 2 震度 3 震度 2 震度 3 震度 2 震度 1	根室半島南東沖 根室市牧の内＊(46) 根室市厚床＊(46) 標津町北2条＊(39) 別海町西春別＊(38) 別海町本別海＊(36) 根室市弥栄(36) 根室市落石東＊(39) 根室市瑛瑤瑠＊(44) 中標津町養老牛(27) 中標津町丸山＊(33) 標津町古多糠(28) 標津町薫別＊(34) 羅臼町緑町＊(26) 羅臼町岬町＊(32) 別海町常盤(33) 根室市豊里(34) 羅臼町春日(20) 釧路市黒金町＊(37) 浜中町湯沸(35) 浜中町茶内＊(42) 釧路市幸町(31) 釧路町別保＊(26) 厚岸町尾幌(28) 厚岸町真栄＊(31) 標茶町塘路＊(31) 弟子屈町美里(19) 弟子屈町弟子屈＊(23) 弟子屈町サワレンチサップ＊(19) 釧路市阿寒町中央＊(22) 釧路市阿寒町阿寒湖温泉＊(18) 釧路市音別町中園＊(23) 標茶町川上＊(21) 鶴居村鶴居東＊(23) 白糠町西1条＊(24) 浦幌町桜町＊(25) 鹿追町東町＊(18) 新得町2条＊(19) 足寄町南1条＊(17) 十勝清水町南4条(18) 幕別町忠類錦町＊(19) 幕別町本町＊(18) 十勝池田町西1条＊(24) 豊頃町茂岩本町＊(15) 本別町向陽町＊(17) 更別村更別＊(15) 十勝大樹町東本通＊(20) 広尾町並木通(16) 上士幌町清水谷＊(08) 足寄町上螺湾(14) 帯広市東4条(13) 帯広市東6条＊(13) 音更町元町＊(13) 士幌町士幌＊(09) 芽室町東2条＊(14) 幕別町忠類明和(14) 本別町北2丁目(14) 中札内村東2条＊(11) 広尾町白樺通(10)	42° 55.9′ N	145° 37.0′ E	40 k m	M5.8

* のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
（ ）内の数値は0.1単位の詳細な震度（計測震度）の小数点を省略して表しています。

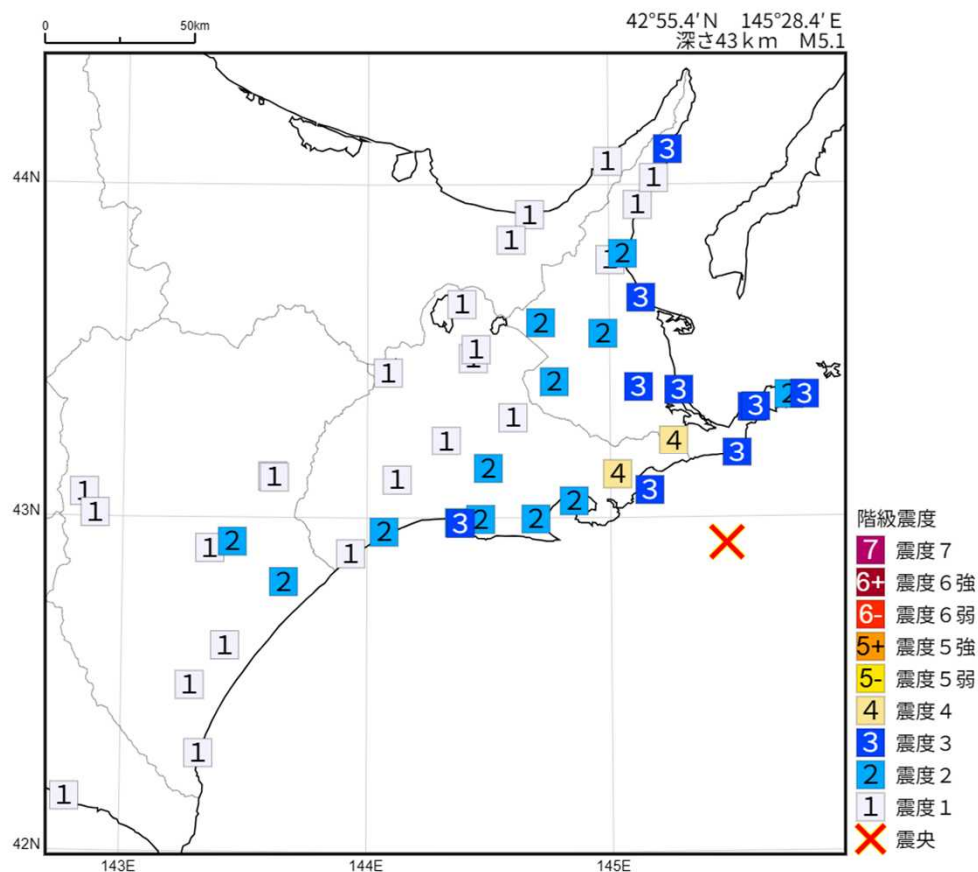
計測震度と震度階級の関係

計測震度	～0.4	0.5～1.4	1.5～2.4	2.5～3.4	3.5～4.4	4.5～4.9	5.0～5.4	5.5～5.9	6.0～6.4	6.5～
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

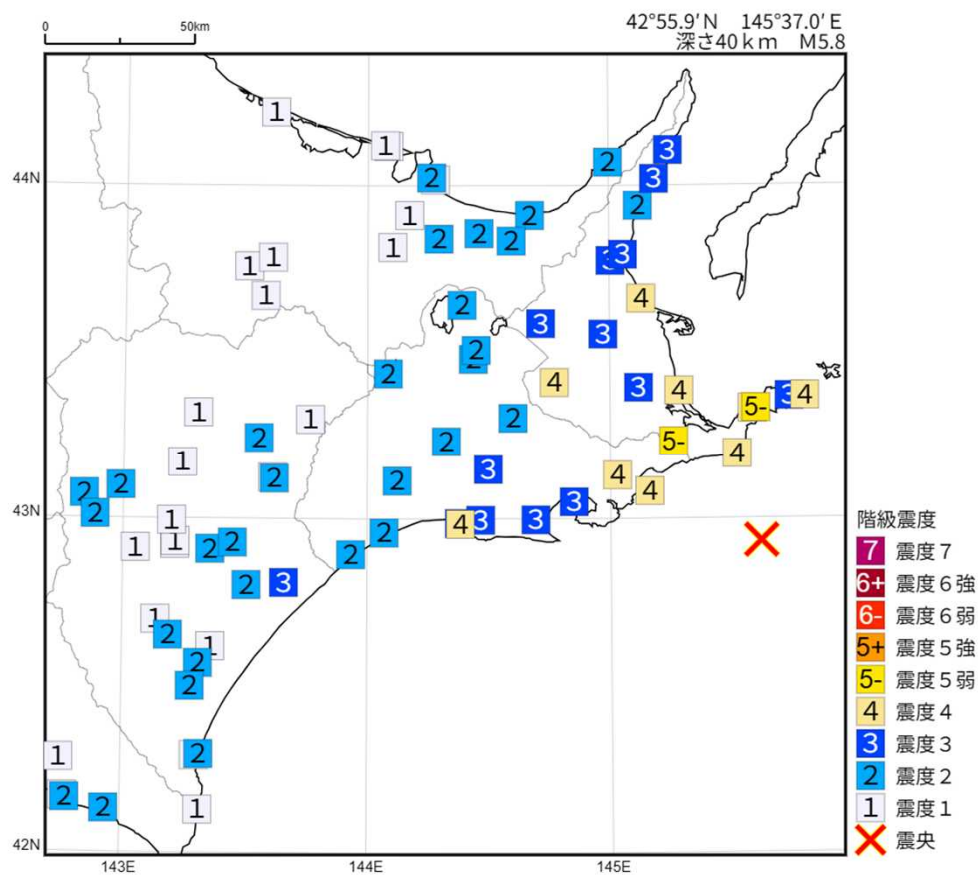
本資料の利用にあたって

- ・本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

2025年10月22日 18時17分 釧路沖の地震の震度分布図



2025年10月25日 01時40分 根室半島南東沖の地震の震度分布図



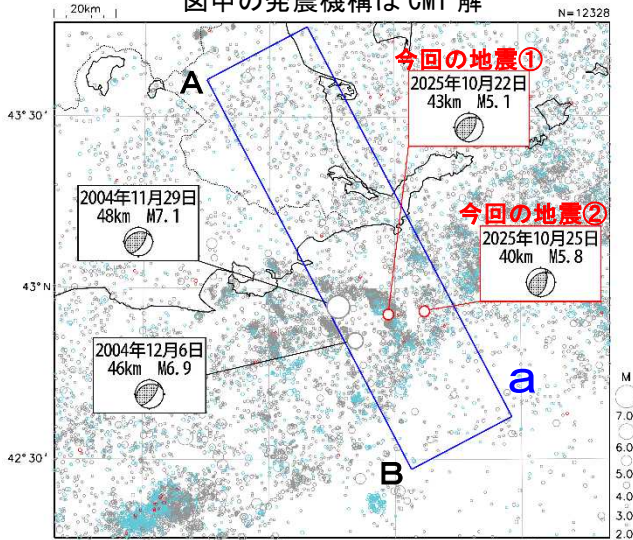
10月22日 釧路沖の地震

10月25日 根室半島南東沖の地震

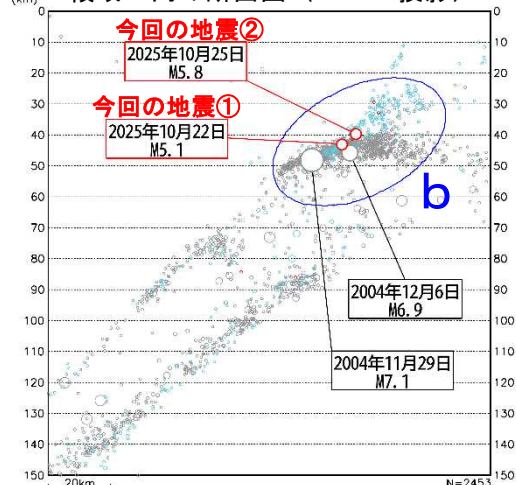
震央分布図

(2001年10月1日～2025年10月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)2020年9月以降に発生した地震を**水色**、
2025年10月に発生した地震を**赤色**で表示

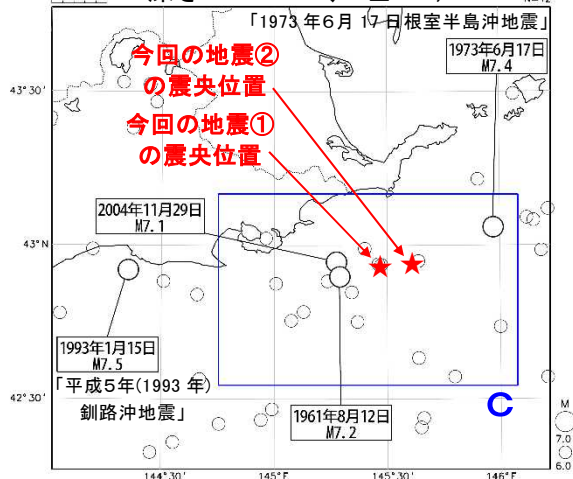
図中の発震機構はCMT解



A 領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

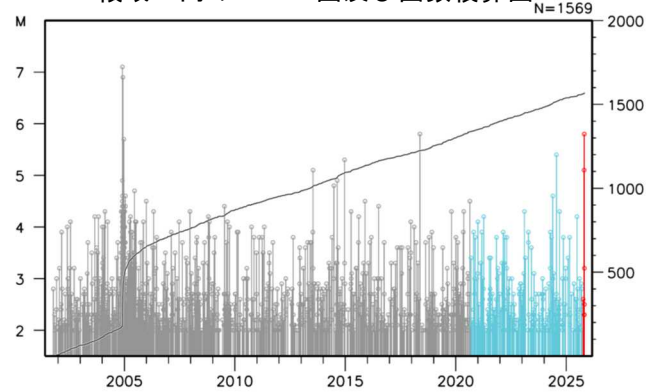
(1919年1月1日～2025年10月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

2025年10月22日18時17分に釧路沖の深さ43kmでM5.1の地震（最大震度4、図中①）が発生した。また、25日01時40分に根室半島南東沖の深さ40kmでM5.8の地震（最大震度5弱、図中②）が発生した。いずれの地震も発震機構（CMT解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

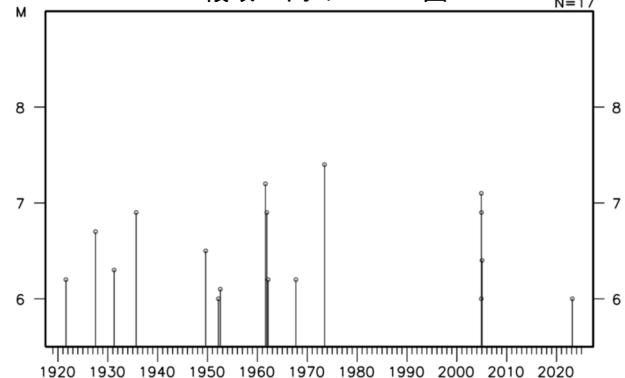
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生している。2004年11月29日に発生したM7.1（最大震度5強）の地震では、負傷者52人、住家被害5棟などの被害が生じ、根室市花咲で最大の高さ12cmの津波を観測するなど、北海道太平洋沿岸東部で小さな津波を観測した（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7.0以上の地震が3回発生している。「1973年6月17日根室半島沖地震」（M7.4、最大震度5）では、根室・釧路地方で負傷者26人などの被害が生じ、根室市花咲で最大の高さ280cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測するなど、北海道から四国地方にかけての太平洋沿岸で津波を観測した（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



【防災メモ】

～陸域の浅い地震～

地球の表面は十数枚の巨大な板状の岩盤（プレート）で覆われており、それぞれ別々の方向に年間数cmの速度で移動しています。

日本列島周辺では、複数のプレートがぶつかり合うため、大きな力がかかり岩盤にひずみが蓄えられます（図1）。そのひずみが限界に達したとき岩盤が急速にずれ動きます。これが地震です。

地震は、海溝沿いのプレート境界や海のプレート内部で発生する「海溝型地震」のほか、陸域の浅い所（深さ約 20km より浅い所）でも発生します。これを「陸域の浅い地震」と呼びます（図2）。

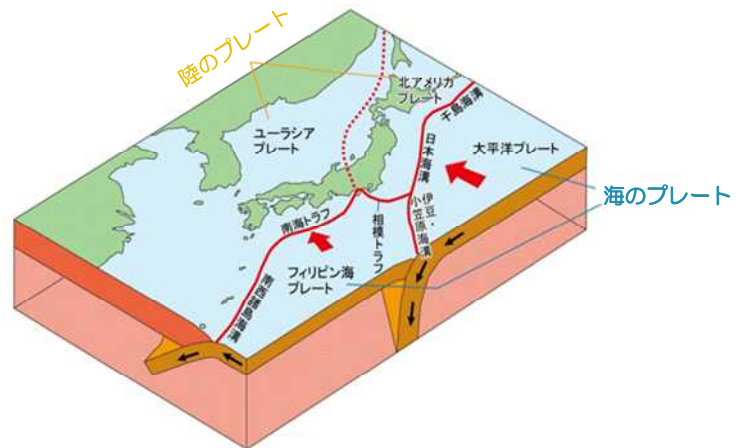


図1 日本列島周辺のプレート

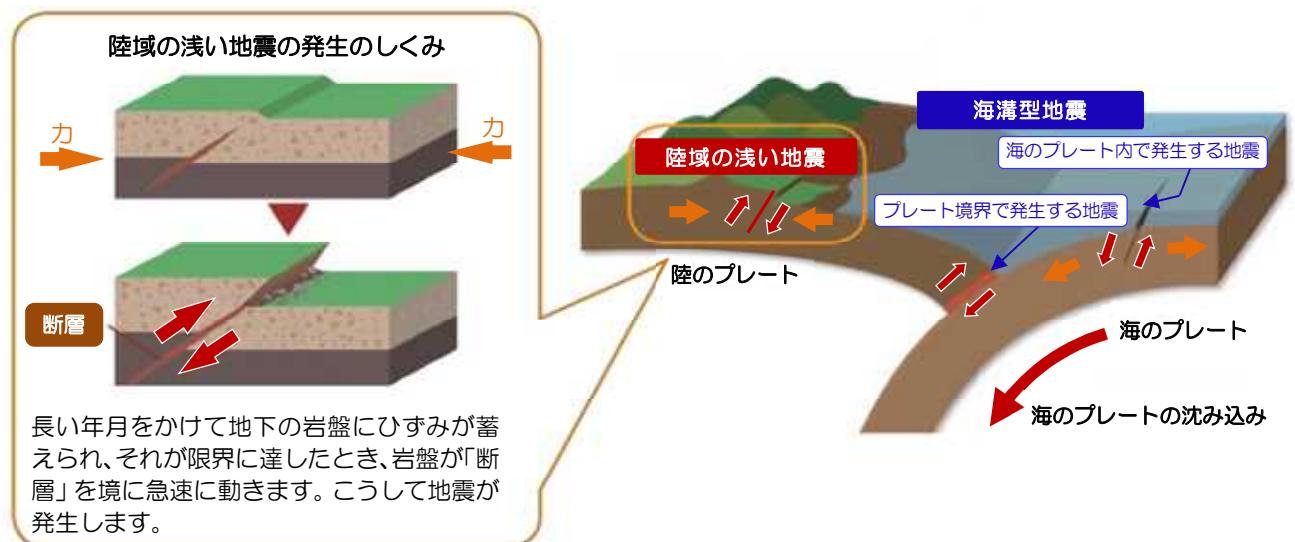


図2 日本列島周辺で発生する地震のタイプ

「陸域の浅い地震」は、地震の規模（マグニチュード）が比較的小さくても震源の直上では揺れが強くなるため、人の住む場所で発生すると局所的に大きな被害が生じる場合があります。

2018年（平成30年）9月6日に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」はマグニチュード6.7と、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」のマグニチュード9.0に比べて地震のエネルギーは2800分の1でしたが、最大震度は同じ震度7を観測しました。この強い揺れで、大規模な土砂崩れにより多くの人命が失われ、また、地盤の液状化による住家倒壊、北海道内のブラックアウト（全域停電）などの大きな被害が生じました。

地震はいつ起きるかわかりません。陸域の浅い地震など震源に近い地域では、緊急地震速報が間に合わず、発表前に強い揺れに見舞われることもあります。突然の揺れに備えて日頃から家具の固定や身の安全を図る行動の確認をしておきましょう。